

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和7年1月30日(木)
午前10時から午前10時29分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 14名
- 5 欠席議員 梅村均
- 6 出席者 市長 久保田桂朗、副市長 柴田義晴、教育長 野木森広、
総務部長 中村定秋、総務部専門監 齋藤元英、市民協働部
長 伊藤新治、福祉部長 長谷川忍、健康こども未来部長 西
井上剛、建設部長 西村忠寿、消防長 岡本康弘、教育部長 石
川文子
企画財政課長 佐野剛、同主幹 井手上豊彦、同統括主査 宇
佐見信仁、行政課長 兼松英知、同統括主査 宇佐美祐二、
こども家庭課長 神山秀行、同主幹 佐久間喜代彦
- 7 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主幹 田島勝己
- 8 議長あいさつ
- 9 市長あいさつ
- 10 報告事項

(1) 執行機関からの報告

① 2月臨時会に提出予定の議案について

各部長：所管する議案について資料に基づき説明

健康こども未来部長：愛知県と協調して行う事業については、県も2月議会でこの予算を公表して補正予算であげていくもの。県が2月10日に公表する予定の内容で、今日の段階ではまだ県の公表前なので、県との協調事業部分については取扱いに十分注意していただくようお願いする。

総務部長：今回提出する補正予算については、物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金により実施する事業のうち、今年度中に予算化が必要となるものについて補正予算として編成をしている。国からの交付金については、国の方で繰り越しをして令和7年度の事業に使うことができるということなので、この交付金を活用した残りの事業については、令和7年度当初予算に含んで予算化をしていきたい。2月18日の全員協議会の時にはお示しできると考えている。

【質疑】

大野議員：新年度予算に繰越す臨時交付金の額はどれくらいか。

総務部長：低所得者の世帯への給付の分と推奨事業メニュー分があり、比較的自由に使える推奨事業メニュー分については約9,900万円である。

このうち今回、先ほどの228万3千円を予算化したということになる。

低所得者の分も総額としてはもう少しあるがこちらは実績払いとなる。

② その他

・令和6年に提起された損害賠償請求住民訴訟控訴事件の判決について

行政課長：資料に基づき説明

【質疑】

水野議員：現段階で控訴人から最高裁判所に上告する意思は明示されているのか。

行政課長：上告の期間については判決書が送達されてから2週間とされている。現在のところ代理人弁護士から上告されたとの情報は得ていない。

(2) その他

なし

1 1 協議事項

なし

1 2 その他

なし